

パルシステム東京 震災復興支援基金「パル未来花基金」助成活動レポート

震災復興支援基金「パル未来花基金」の助成を受けて、復興支援活動に取り組みました。その取り組みについて、組合員の皆さんにご報告します。

グループ名	藤結びの会
支援対象者・エリア	陸前高田市内の被災者の方々
企画開催地	陸前高田市
企画名称	陸前高田市の方たちを応援する、交流会などのイベント企画
実施期間	2018 年 5 月、12 月、3 月。2 泊 3 日を 3 回。

支援活動の目的・内容・感想

（どうしてこの活動をはじめたのか、どのようなことに取り組んだのか、取り組んだ感想など）

私たちは、震災後、陸前高田で、主に仮設住宅の方々のコミュニティ作りのお手伝いを目的に訪問する活動に参加してきたメンバーが主です。最初のグループは活動を終了しましたが、その中で、さらに継続する必要がある人たちが、2015 年に「藤結びの会」という新しい会を立ち上げ、年に数回陸前高田を訪問しイベントなどをしながら現在に至っています。継続と言っても、時間の経過とともに、被災地で必要とされることは変化していき、私たちの活動の内容も変わってきています。

仮設住宅の方々は、徐々に家を建てたり、復興集合住宅に移られたりして、現在は、市内では 2 か所を残すのみとなり、仮設を訪問することはなくなりました。現在の活動は、以前から並行して行っていた子育て支援センターや、就労支援 B 型作業所「きらり」などが中心です。

藤結びの会の一番のイベントは、活動でお知り合いになった方々をお招きして 5 月中旬に催す「藤棚カフェ」です。会の名前の由来も「藤棚が結ぶ縁」からきています。会場は、市内横田地区にある農家のお庭の立派な藤棚をメインとしています。こちらのお宅には活動の最初から宿泊などお世話になっています。最近はお座敷もお借りできるので、雨天でも心配なく開催できるようになりました。2019 年度も、6 回目のカフェを開催する予定です。回を重ねるにつれ、人数も増え、来る方自身が民謡などで自主的に盛り上げてくださるのがこの会の特徴かと思います。

子育て支援センターやきらりは、最初は自ら被災者であるのに被災者をケアする立場にある職員の方たちを応援する意味で訪問を始めましたが、利用する方たちともつながりができています。カフェはきらりの利用者さんも楽しみにしてくださっています。

子育て支援センターでは、こちらがすべておぜん立てするのではなく、センターの先生が企画したイベントを手伝うという形で被災地の自主的活動を援助するという良い形になっていると思います。

また、宿泊でお世話になっている H 農園で震災後作り始めた「北限のゆず」の販売に協力できないかと、ゆずを使って簡単にできるジャムなどのレシピの開発なども取り組み始めました。

陸前高田は時折マスコミに登場することもあります。復興はまだ半ばの状態、人口も減っています。

これからも、小さな力ですが、陸前高田を応援する活動をしていきたいと思っています。

活動の様子（写真など）

2018 年 5 月の活動 藤棚カフェ

当日朝の準備



参加者の民謡・踊り・チンドン屋さん



きらりの利用者さん達



雨の藤棚の下で



2018年12月の活動

子育て支援センター合同企画のハンドマッサージの様子



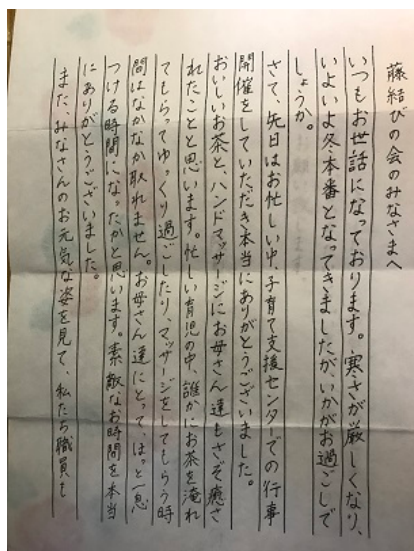
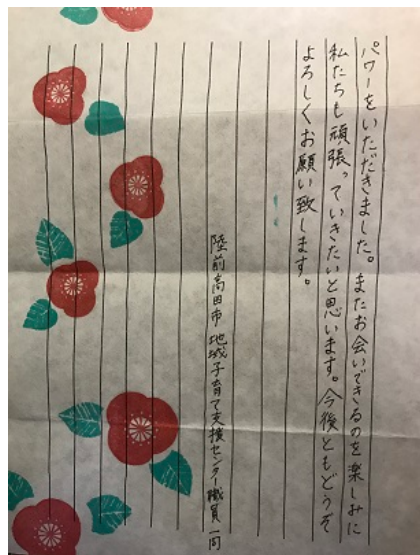
抹茶のコーナー



他団体からニットのセーターのプレゼントがあり、お好みのを選んで記念写真



後日、子育て支援センターの先生から頂いたお手紙



ゆずジャム作り



2019年3月の活動

3/13は春、翌日14日の朝は冬！



レインボーハウスでの活動

